

箱根組ニュース

第316号 2019年4月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入つて山に登りましょう！

西丹沢の不老山で不老長寿のパワーを授かる？ 下山直前でルートを間違えて尾根に戻る。

3月17日(日)、小田急線新宿駅発6時31分の急行小田原行きに乗車。新松田駅に7時56分着。

降り立ったのは、三田村(初参加)、西尾(初参加)、奥村、神山、入江(初参加)、岩岳、和田、神吉、星野親子、戸丸と伊東からの西川の12名。

8時25分発予定の西丹沢自然教室行きのバスは乗客が多いせいか早めの8時10分に出発。バスは雲のかかる富士山方向に向かって進んでゆく。箱根の金時山はよく見えている。

8時50分、向河原バス停下車。

(実は計画の地図では棚沢キャンプ場前下車となっていたが西尾さんの最新地図では向河原バス停と変わっていた。若い運転手さんに確認すると棚沢キャンプ場バス停は知らないという、バス停名の変更等は要注意だ。)

バス通りを少し戻る。空気はひんやりとしている。

8時53分、右側に吊り橋が見える。鋭角に右に曲がり橋を渡る。河内川に架かるこの吊り橋はなかなか立派な橋だ。

安定していてあまり揺れない。正面には太郎小屋山、番ヶ平ノ頭、勘太郎山など800m級の山が競うように並んでいる。その奥に928mの不老山がある。不老山は神奈川県と静岡県境に位置していて北峰と926mの南峰の双耳峰、南峰では富士山が見られる。約3時間で到着できる。

橋を渡った少し広いところで自己紹介とストレッチをする。今回初めて参加したのは戸丸の知人の三田村さんと三田村さんの山仲間の西尾さん。そして入江さんは神山さんのお知り合い。

きれいに手入れされた茶畑には霜よけのファンがいくつも立っている。足元には山頂から駿河小山方面のルートは通行禁止という看板があるが、平成22年の山崩れということで一応気にしながら進むことにする。(後に分かったことだが通行可能なのでこの看板は撤去すべきものだと思う)

9時13分出発。右に山方向に進むと名残の梅が良い香りを残してくれている。山の麓を左に曲がってゆく。



後から来た二人の男性と話す。道が間違いやすいので気を付けるようにとアドバイスをいただく。前に迷ったことがあるようだ。

小屋の横を右に入ると山道になる。まずはヒノキの植林地だ。

9時半頃になると明るい広葉樹の斜面になる。最初からかなりの傾斜で丹沢らしい。汗をかいてきたので一枚脱いで薄着になる。左側が急傾斜に落ちている道を登ってゆく。

9時40分、正面、黄色いテープが道をふさいでいる。山道が続いているのだからどうやらこの先の登山道が崩れたか何かで道を変更しているようだ、右に大きく戻るように登山道が造られている。急な道を登ってゆく。常緑樹の緑がきれいな林を登ってゆく。このように常緑樹が多いのは伊豆など関

奥村さんより3000円と、打ち上げ残金1032円を入金しました。	
現在の収支	
繰越入金	36027 円
	4032 円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	38659 円

切手残数	82 円切手
	40 円切手
	131 枚
	184 枚

東の南の山の特徴のような気がする。林の上に青空が広がっている。

10時、狭い峡谷に小さな板の橋が架かっている。慎重にこれを渡る。

10時半ころには急な傾斜は少し緩やかになる。しかしまだまだ上りは続く。

11時過ぎ、岩岳さんが足がつるといので飲み菓やスプレーなどで治療をする。ザックは戸丸が担ぐことにして再出発。岩岳さんは時々足をさすりながらなんとか頑張って登ってゆく。

11時20分過ぎ、木々の間から左方向に景色が広がる。

12時5分、番ヶ平着。山頂まであと1, 3キロだ。バス停から3, 4キロ地点だ。休憩。林道の広い所から景色が開けて見える。

12時12分、出発。林道を横切って山道に入っていく。

右はヒノキ林、左は雑木林の尾根を登ってゆく。

4月27日（土）、奥多摩の海沢園で野草天ぷらをします。

らくだコース 歩行約3時間

白丸駅から海沢園まで野草を摘みながら歩きます。帰りは奥多摩駅を目指します。

※お弁当は要りません、うどん、そばを作ります。

○持ち物 食器(お椀)、箸、飲料水、非常食、雨具、傘、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他。

●申し込みは4月25日(木)までに

集合 4月27日(土)

JR 中央線東京駅(2番線) 6:30発
快速青梅行き(前から3両目)

途中駅発 神田 6:32 御茶ノ水 6:34

新宿 6:48 (12番線) 中野 6:52

荻窪 6:56 吉祥寺 7:00 三鷹 7:04

武蔵境 7:06 東小金井 7:09

武蔵小金井 7:11 国分寺 7:20

西国分寺 7:22 国立 7:24 立川 7:30

青梅着 8:05 (乗換) 8:10 発

白丸駅 8:45 着

東京～白丸 片道 1,242 円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

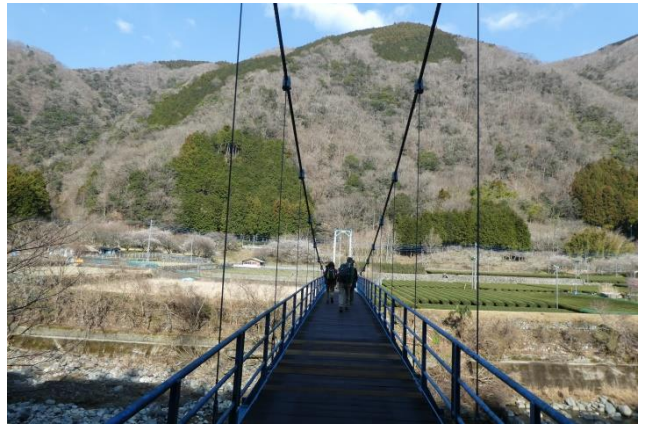
戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi



12時

55分、

不老山山頂に到着。

30分の予定でランチタイム。

バーナードでお湯を沸かそうと準備をしているとちらちらと舞

うものが、時々雨という予報は聞いていたがまさかの雪が舞っているのだ。季節外れのプレゼント。

他には登山客はなく、テーブルとベンチは、いや山頂は贅沢に独占状態。

少しでもビールで乾杯、テーブルにはいつものように美味しい持ち寄りの料理。梅酒のお湯割りもちよつといただく寒いので温かいものはうれしい。

1時40分、予定より15分オーバーで下山開始。下りは西尾さんが岩岳さんのザックを担ぐ。

1時45分、不老山南峰着。富士の山頂は雲がかかっていたが雪をかぶった

姿を確認できた。

2時36分、送電線の下は伐採されていて大きく景色が開けた。

2時49分、生土山分岐を左方向に山道を進む。右方向は林道になっている。

4時、広葉樹の林を下りて行く。この少し先で尾根道が怪しくなっているのに気づく。この道でいいですか？と言われヤマツプを見るとわずかにルートがずれている。山道は少し前に右に曲がらなければいけなかった。しかし道は木の葉は一杯積もってはいるが昔ながらの山道の様だった。すぐ下には国道246が走っているので行けるだろうと下って行った。結果246のすぐ横に出たが石垣が3メートルほどあつて12名が通過するのは無理と判断。246沿いに斜面を横にトラバースという案が出たが、不安を訴える人がいて「迷ったら尾根に上がる」という基本に戻って戻ることにする。来た道をじっくり上ってゆく。ヤマツプを見ながら尾根を戻る。

4時47分、間違えた個所に戻ることができた。実際のルートは右に直角に曲がっていてプラスチックの階段状のものがついていたが急激に下っているので死角になっていて見落としてしまっていたことも分かった。間違いを確認することができ、戻って本当に良かった。

手すりの付いた急な階段状を下つてゆく。かなりの落差だ。

5時16分、平地に下りる。国道246の下をくぐり突き当りの車道を右に曲がる。正面には富士のシルエットが姿を現した。小山交番前の信号を左に曲がり鮎沢川に架かる橋を渡る。線路を渡り左に進むと左側、駿河小山駅に到着。

すぐに来た御殿場線5時55分発の国府津行きの電車に乗り込む。

6時15分松田駅に到着。

新松田駅前の居酒屋で12名全員で打ち上げ。うまいビールで乾杯しおいしいおつまみで一日の仕上げをする。ルート of トラバースはあつたが手ごたえ十分の楽しい不老山だった。



